

<報道発表資料>

産業施策

平成25年 3月29日

家電大手の「ハイアール」 県内立地決定

「埼玉から世界へ」冷蔵庫の研究開発拠点が熊谷市に誕生

世界的な家電メーカー「ハイアールグループ」の日本及びASEAN地区を統括するハイアール アジア インターナショナル株式会社が、「東京R&Dセンター」（仮称）を熊谷市に立地することを決定しました。

新拠点では、ハイアールグループにおける世界各国の研究・開発拠点との連携を強化、日本国内における開発強化や産学連携による新技術導入、それぞれの消費者のニーズに合わせた商品開発を図ります。近い将来、ここで研究・開発された冷蔵庫が、世界各地で製造・流通することになります。

敷地面積は約1万3千㎡、延床面積約1万6千㎡。上越・長野両新幹線や湘南新宿ラインなどが停車し広域の交通アクセスに恵まれた熊谷駅から南東へ約1km。平成26年秋の完成、操業開始を目指します。

■新拠点「東京R&Dセンター」（仮称）の概要

- 1 所在地 熊谷市平戸
- 2 規模 敷地面積 約1万3千㎡ 延床面積 約1万6千㎡
- 3 施設内容 冷蔵庫などの研究開発・設計ほか
- 4 日程 着工 平成25年秋（予定）
完成・操業 平成26年秋（予定）
- 5 総工費 約80億円（土地、建物、設備等含む）

■ハイアールアジアインターナショナル株式会社

- 1 本社 大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー14階
- 2 代表者 杜 鏡国（と・きょうこく） 代表取締役社長
- 3 事業内容 ①日本及びアジア向けの冷蔵庫・洗濯機等の研究開発
②R&Dセンター（研究開発拠点、国内2カ所）、日本やASEAN各国の製造拠点（4カ国）と販売拠点（6カ国）の事業運営管理